

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	「地域に根差し、知恵と工夫と創造力を持ち、ゆったりとした毎日が過ごせるよう、ひとりひとりの楽しみと健康と安全を考慮しながら、家族の協力を得つつ学び支えます。」 地域、尊厳、家族、介護力と言うことを意識して職員全員で理念を作り、理念に沿った介護支援ができるよう努めている。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念の掲示し、また日々の引継ぎや会議の場でも理念に基づいた介護支援ができるよう日々話し合い実践に向けて取り組んでいる。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	理念の中にも取り入れ玄関に掲示し、ホーム見学、来訪時、家族会や運営推進会議などでも理解、協力が得られるように説明している。	○	町内会向けの便りにも理念を載せ地域の人にも知ってもらおうよう努めたい。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	差し入れを頂くこともあり畑で穫れた野菜や手作りのおはぎのおすそ分けするなど交流を持っている。近隣のコンビニやスーパー、理髪店も利用しており外出時には声をかけて頂くことも多くなっている。	○	行事の参加や気軽に立ち寄ってもらえるよう今後も声を掛けていきたい。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会の総会やゴミ拾いなどの行事にはできる限り参加している。毎年幼稚園の運動会にも呼んで頂き入居者と参加させてもらっている。	○	更に老人会や町内会の行事に入居者と参加できる機会を増やしたい。
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	ホームの便りを町内会に回覧して頂いたことでホームの存在を知ってもらうことができ、見学や介護相談、問い合わせが多くなった。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員全体で自己評価を行い、職員ひとりひとりが意識を持って関わるよう努めている。外部評価の結果についても話し合い改善するよう取り組んでいる。		
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度会議を行い活動状況や外部評価の報告をし情報交換している。提案等あれば職員と話し合い実践しサービス向上に努めている。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	随時連絡をとっており、研修や会議にはできる限り参加している。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修や会議で学んだことをフロアー会議で職員にも伝えケースカンファレンスでも話し合っている。	○	職員の研修参加の機会を増やし、全体での知識習得に努めたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	会議で高齢者虐待防止関連法をテーマに話し合い、日常の対応の中でも意識するよう職員間で注意し合っている。	○	新人スタッフの外部講習会参加や個々のスキルアップを図るため計画的に研修の機会を設けたい。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に重要事項など説明し、疑問がないよう十分な話し合いを心がけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常の中でも会話や様子などからも思いを汲み取るよう心がけ、職員とも話し合い不満等の解消に向けて取り組んでいる。また馴染みのボランティアの方と個別の時間を設けるなど個々に合わせた対応が出来るよう努めている。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>日常的に来訪時や電話で報告している。職員の異動等に関しては毎月のさとほろ便りや家族会で伝えている。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>外部にも苦情、相談窓口があることも伝えているが、家族会や来訪時にも声をかけ意見や提案ができる機会をつくり職員へ報告し改善に向け話し合い迅速に対応することを心がけている。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議の場や個別に意見を聞く機会をつくるよう努めている。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>変化のある時や外出同行など話し合い、入居者の生活状況に合わせた対応が出来るよう調整している。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>各フロアを自由に行き来し、全スタッフが馴染みの関係になれるように心掛けている。ホーム全体での行事の際も出来るだけ他フロアの入居者との関わり、交流が持てる様配慮している。</p>	○	<p>職員採用の前に承諾を得て勤務体験をしてもらい長く勤めてもらう努力をしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個々の職員に合わせ必要な研修へ参加する機会をつくっている。また他フロアへの内部研修も行いスキルアップに努めている。	○	計画的に研修へ参加する機会を今後も増やして職員全体が向上心を持てるよう取り組みたい。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	他ホームへ入居者と共に訪問するなど交流の機会を持っており中央区のスタッフ研修などにも出来るだけ多くの職員が参加し交流が持てるよう努めている。。	○	更に交流を深め相互訪問、勉強会など参加の機会を増やしていきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	常に配慮しながら休みの調整や休憩室の環境整備などを行っている。またそれぞれの悩みを話し合いストレスの軽減に取り組んでいる。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	常に意識し声をかけたりしながら状況を把握している。また努力や実績を給与に反映し向上心を持って働けるよう努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	家族からの相談が殆どで話し合いをし入居を受け入れているが、本人と家族の意向が違う場合がある。入居後も本人の想いや不安を家族にも理解してもらえよう家族へも都度連絡し協力を得ながら本人がより安心して過ごせるよう努めている。	○	本人の想いを受け止め、家族と共に入居後の生活を支えられるよう努力したい。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	努力はしているが本人の想いと違うことが多く、中立の立場で本人の想いも伝えながら信頼関係を築くよう努めている。	○	入居後もより良い親子関係が作れるよう配慮しながら本人の想いも伝えていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族から直接相談があった際には状況、経過を聞き入居前に受けられる他のサービス利用についても説明、提案している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	家族の意向での入居のケースが多く納得して入居することの方が少ないが可能な限り入居前には本人にホーム見学に来てもらっている。また入居後も家族に面会を増やしてもらうなど協力を得て不安の軽減に努めている。	○	本人の気持ちを大切にしながら安心して入居出来るよう家族とも十分話し合い入居を受け入れたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	共に楽しみ、本人の出来ることを見つけながら、一緒に行くことを心掛けている。支えてもらうことや会話の中で学ぶことも沢山あり、人として信頼関係を築き、家族同様な関係になれるよう日々努力している。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族参加の三大大行事もあり一緒に楽しい時間が過ごせるよう出来るだけ参加してもらっている。入居者の状況も伝え外出の機会を作ってもらうなど家族との関わりを大切にし協力を得ながら共に支えている。	○	ケアプランにも毎回家族と話し合い意向を確認し家族の意見も取り入れている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人と家族の関係を考慮しながら報告、相談し、より良い関係が築けるよう支援している。	○	本人が楽しく落ち着いた生活ができる環境を整え支援することで家族に認知症の理解を深めてもらえるように努力したい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	会話から得た情報も家族に伝え協力を得ながら馴染みの場所への外出や年賀状、電話のやり取りなどが出来るよう関係継続の支援に努めている。	○	家族との外出が出来ない時はホームで対応している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	常に関係に配慮した対応を心掛け、職員が仲介することで関わり合いがもてるよう工夫している。	○	互いを理解し合えるように家族の協力も得て入居者同士の関係に配慮し支援している。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	以前入居されていた方のご家族も他の入居者に会いに来てくれるなど、入居者にとっても馴染みの関係継続がなされている。退所後もお見舞いに行ったり、連絡を取っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話やその時の様子から個々の想いを汲み取り生活に反映するよう努めている。出来るだけケアプラン見直し時には本人に意向を聞いている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族から出来るだけ情報収集し、入所後も本人との会話の中から把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	いつもと違うことは個人の申し送り用紙にも記録し日々の記録は介護計画に沿って記録している。職員間で情報共有し、会議で話し合い一人ひとりの状態把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画作成時には本人、家族と話し合い意向を聞き、毎月の会議で意向を基に話し合い意見を出し合い介護計画に反映するよう取り組んでいる。	○	必要な時には医師と家族、担当職員で話し合っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎月の会議でも話し合い状況の変化に合わせて検討し、現状に合わせた介護計画の作成が出来るよう取り組んでいる。見直し時には本人、家族と話し合っている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々入居者に対して職員が気づいたことや実践例などを個別の申し送り用紙に記録し情報の共有に努め介護計画の見直しに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	要望があったときには柔軟な対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	町内会の回覧などで参加できそうな行事等は入居者にも伝え支援に努めている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現在事例はないが必要に応じて対応したい。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議の際にも相談、情報交換している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人、家族と話し合いながら適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>定期受診の付き添い、必要時に応じての受診の支援を行っている。受診の際には状況を伝え相談している。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>一週間に1回、訪問看護を受けている。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>利用者の状態に合わせて家族と話し合い、病院関係者と情報交換し受け入れ体制を整え出来るだけ早期退院に向け取り組んでいる。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>家族と医師で終末期についての話し合う場を設けている。家族の意向も書面に残し随時確認し、個々の終末期の方針についての情報を職員全体で共有している。</p>	○	<p>都度、家族に入居者の状態を報告、相談しながら状況に応じて対応できるよう取り組んでいる。</p>
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>定期的に家族の意向を確認し、かかりつけ医と話し合う場を設け今後の対応について決めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	出来るだけ自宅から使い慣れた物や家具を持って来てもらうようにしている。家族にも協力も得て来訪や電話など本人の不安が少しでも軽くなるよう配慮している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	利用者本人の立場に立ってどのように接して欲しいか日々対応について話し合いプライバシーの確保に努めている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	表情やジェスチャーなど本人が理解しやすい表現を心がけ本人の希望や訴えに応えられるよう努めている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	外出同行など出来るだけ希望に応えられるよう支援している。	○	日々一人ひとりの思いや個性を大切にすることを心がけている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	その人らしさを大切に個々に合わせた支援をする。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者それぞれの持っている力を活かして献立を決めたり一緒に準備や調理、片付けをしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	食べたいものなど希望を聞き一緒に買いに行くなど好みに合わせた対応が出来るよう支援している。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	時間帯や状況を見ながら声かけや誘導の工夫をトイレでの排泄できるよう支援している。	○	一人ひとりの状態に合わせた支援が出来るよう、都度会議でも話し合い取り組んでいる。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴が苦手な方にはその理由やタイミングについて職員で話し合い工夫しながら体調や気持ちに配慮して支援している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	様子を見ながら必要な時には声をかけている。眠れない方には温かい飲み物や足浴など気持ちよく眠れるよう工夫している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの得意なことを日常生活での役割(米研ぎや食器拭きなど)として発揮できるよう取り組んでいる。	○	以前暮らしていた場所へドライブに行くなど気分転換が出来るよう支援している。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族とも相談し、可能な範囲で所持している。買い物の希望等があれば一緒に出かけている。外出先での支払いなど本人の出来ることを大切にしよう努めている。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物や散歩、ドライブに出かけるなど希望を聞きながら外気に触れる機会を多く持てるよう努めている。	○	入居者の様子から声をかけ一緒に買い物に行くなど気分転換が出来るよう努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ホームでの行事の他にもコンサートやバレエ公演など好みを聞きいて個別に家族も交えて外出支援している。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望時にはいつでも電話が出来るよう支援している。年賀状や遠方の家族との手紙のやり取りなど日常的に支援している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも訪問を受け付けており、気軽に来てもらえるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	会議などでも全職員で話し合い認識し、身体拘束のないケアに取り組んでいる。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	マンション玄関はオートロックになっているが各ユニットの玄関は日中常に開放し自由に行き来が出来るようになっている。夜間のみ防犯対策として施錠している。		
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	常に入居者の所在、様子を把握し安全確認に努めている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの状態に合わせて危険について検討し個別に対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	消防訓練、救命講習も受けながら知識を持って対応出来るように会議でも話し合い入居者の状態を把握しながら事故防止に取り組んでいる。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	会議でも起こりえる事故や病状の急変時の対応について確認している。	○	定期的な救命講習や訓練の機会を増やしたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署による避難訓練の指導を受けている。	○	町内会へも協力が得られるよう働きかけに努めている。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	日常的に家族と連絡を取り、報告しながら起こりえるリスクについて説明し、相談しながら協力を得て対応策について話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日ごろからいつもと違う様子など把握に努め職員間で情報共有しかかりつけ医に連絡、相談した対応している。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方された薬が変わった時には用法や副作用について都度確認している。症状に変化があれば記録に残して医師へ報告している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘予防の重要性を認識し、便通により食品や飲み物の工夫、適度な運動を取り入れている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後に口腔ケアを促し、磨き残し等声かけや見守りをして清潔が維持できるよう支援している。	○	毎食後の習慣がない方や歯磨きを好まない方には1日1回は口腔ケアが出来るよう工夫し努力している。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	体重や活動量も考慮し、食べる量や栄養バランスのよい食事の提供に努め、硬さや大きさにも配慮し個々に合わせている。水分量も一日を通して把握し水分が摂れるよう支援している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	日常的にも手すり等共有箇所の消毒を行い、うがいや手洗いを徹底している。	○	会議の場でも感染予防について職員へ伝えている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食品購入の際には安全な品質のものを選び、冷蔵庫内やまな板などの調理器具の消毒を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	ホームの玄関は鉢植えや季節の生花を飾ったり、手芸品を飾るなど工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家庭的な生活感を持って過ごせるよう配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関や洗面所前に椅子があり入居者同士自由に過ごせるよう工夫している。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人、家族と相談しながら、出来るだけ使いなれた家具などを持ってきてもらえるよう居心地よく過ごせる環境作りに努めている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	湿度や室温の確認をし、随時換気したり干し物等でも湿度調整するなどこまめに対応できるようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	物の位置や椅子の高さ、自由に行動できるよう手すりや棚などの配置にも配慮し工夫している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	それぞれの入居者に合った対応が出来るよう、常に意識して自立支援に努めている。	○	入居者の状態に合わせた対応が出来るよう話し合いを持って混乱や失敗を防ぐよう取り組んでいる。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	花や、植木、家庭菜園などスペースを活用し、花の水やりや干し物の取り込みなど入居者とともにしている。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない</p> <p>いつも話し合い出来る限り掴むよう日々努力している。</p> <p>①</p>
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない</p> <p>職員一人ひとりが入居者との時間を大切にしている。</p> <p>①</p>
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>それぞれのペースに合わせて関わりを持ち過ごしている。</p> <p>①</p>
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>共に楽しみながら過ごしてもらえるよう日々努力している。</p> <p>②</p>
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>入居者の希望を聞きながら出来る限り支援している。</p> <p>①</p>
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>入居者が安心して過ごしてもらえるように職員全体で情報を共有し医師や看護師と連携をとって支援している。</p> <p>①</p>
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>職員全体で可能な限り要望に応えられるよう話し合い実践している。</p> <p>②</p>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
95	<p>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています</p> <p>①ほぼ全ての家族 たくさんの協力を得ながら共に入居者を支えてもらっている。 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ②</p>
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>①ほぼ毎日のように 週4日は馴染みのボランティアの方に来て頂いている。 ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ①</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている 町内会に便りの回覧をさせて頂いたことで町内の方にも周知してもらえた。 ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が 大変なこともありますみんな明るく頑張っている。 ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ①</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が 満足してもらえるよう努力しているが足りないこともあると思う。 ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が 満足してもらえるように努力しているが足りないことも多くあると思う。 ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ②</p>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
【特に力を入れている点・アピールしたい点】 (日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点 等を自由記載) 入居者それぞれの個性を発揮できるような関わりを心がけ笑顔の多い毎日が送れるよう支援しています。	